

日時	発表者	連絡先	発表・配布先
令和6年7月30日(火)	(公財)ひょうご産業活性化センター 経営推進部長 足立 宰 (成長期待企業発掘・育成担当課長 林 謙太郎)	078-977-9118	

## 「成長期待企業」(2024年度第1四半期選定)の情報提供について

(公財)ひょうご産業活性化センターでは、県内の中小企業支援機関等で構成する「中小企業支援ネットひょうご」事業の一環として、成長が見込める元気な企業を「成長期待企業」として発掘・選定し、企業の成長に向けた各種支援を実施しています。

この度、新たに下記の4社(累計604社)を選定しましたので、その企業の概要をお知らせします。

### 1 キャスター(株)(半導体製造会社生産支援システムの開発等)

創意と熱意を胸に、最適なシステムを提供する!

#### (1) 沿革等

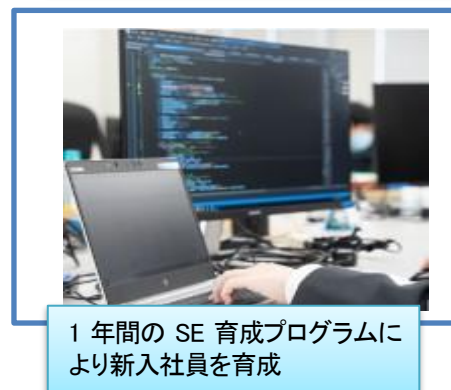
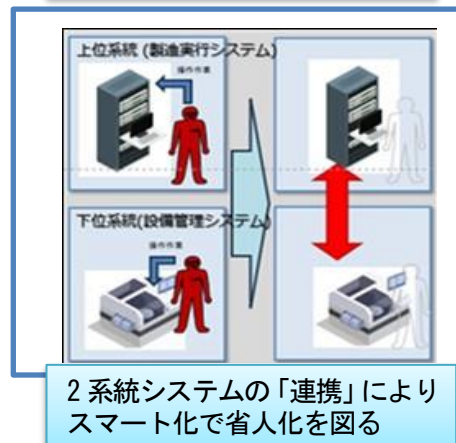
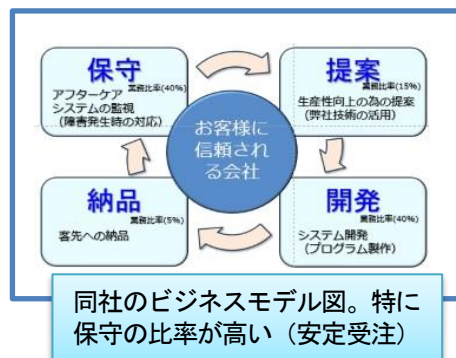
- 同社は、2000年(平成12年)に現代表が、三菱電機株から独立し、設立した。同年に三菱電機(株)半導体事業部と口座を開設し取引を開始。その他、主要取引先として2003年(平成15年)に(株)ルネサステクノロジ、2021年(令和3年)に(株)ミットヨと取引を開始し、現在に至る。

#### (2) 当社の特徴

- 同社は、半導体製造会社を主要顧客とし、生産性向上のための企画提案によるシステムの開発や保守を主業務としている。特に製品の進捗を管理する上位システムの「製造実行システム」と設備の稼働を管理する下位システムの「設備管理システム」の2つのシステムを「連携」し、データをスマート化するIoT技術やビッグデータの解析技術に優れている。スマートファクトリーの構築で、工場の省人化や品質向上、トレーサビリティ向上等に貢献する企業である。また、全事業を顧客から直接受注しており、元請けとして、同社技術を活用した生産性向上のための踏み込んだ提案ができることも同社の強みである。

#### (3) 今後の展開

- 人的投資については、新入社員入社後の1年間はSE技術習得期間として、本来業務へ配置せず、人材育成を行っている。また、顧客と同程度の開発環境を維持し、品質の向上を継続するための投資を行って、半導体製造会社のさらなる生産性向上に貢献し、需要の拡大を図る。



#### 【キャスター(株) 概要】

代表者：前田 文雄  
 資本金：3,000万円  
 従業員数：26名  
 所在地：神戸市中央区川崎町1丁目7番4号  
           ハーバーランドダイヤモンドニッセイビル18階  
 設立：2000年(平成12年)5月  
 電話番号：078-366-2011  
 ホームページ：https://caster-si.site/



『流水不濁』の精神で、絶えず『挑戦』し続ける企業！

### (1) 沿革等

- 同社は、2009年(平成21年)に経営コンサル会社として、(株)誠財務オフィスを設立した。2019年(令和元年)に(有)東進学教室を買収。2020年(令和2年)に現住所に本社を移転。2021年(令和3年)に食品事業部を立ち上げ、運営会社として、MZOパンドゥミ(株)を設立。2022年(令和4年)に社名をMZOホールディングスに変更した。同年、弁当製造販売事業を主たる業務とする(株)トックスを買収し、現在に至る。



フリスタと言われる総2階建て、ITTO 個別指導学院の斬新な校舎

### (2) 当社の特徴

- 同社は、ITTO個別指導学院のFCに参加し、全国各地に72校舎を展開、同FCの中で全国第3番目の規模を誇る。塾の形態は個別指導で、運営はグループ会社の(株)東進学教室と(株)さくら教育企画に全面委託している。また、フリスタと言われる他塾では真似出来ない総2階建ての斬新な校舎作りを行っている。同社のコアとなる競争力は、人事・経理・総務等の業務処理能力と社長が銀行勤務時代に培ったM&Aにおける企業価値の独自算定能力にあり、個別学習塾事業を柱に食品事業にも業容を拡大している。



1階が和・洋菓子の老舗 西盛屋店舗、2階に ITTO 個別指導学院塾校舎を併存した新潟大形校

### (3) 今後の展開

- 教育事業とのシナジー効果を狙い、食品事業を拡大していく。姫路名物のアーモンドバターをサンドしたどら焼きを和・洋菓子製造販売の老舗で協力会社の(株)西盛屋と共同開発した。さらに西盛屋店舗と校舎の併存も図る。また子会社のMZOパンドゥミ(株)や(株)トックスが、パン事業、配食事業、給食事業を担う。令和5年には豆腐等製造販売の(株)富山ホーム食品をグループ会社に加え、さらなる事業拡大を目指す。



町のパン屋さん、m'z noa Bakery(左)、姫路の新名物アーモンドバターどら焼き(右)

### 【(株)MZOホールディングス 概要】

代表者：大迫 正明  
資本金：5,478万円  
従業員数：87名(内パート5名)  
所在地：姫路市亀山2-2番地6 3F  
設立：2009年(平成21年)12月  
電話番号：079-287-6267  
ホームページ：<https://makotozaimu.jp>



美味しく、楽しい「食事」を通じて、「生き甲斐」を提供し、社会に貢献する企業！

### (1) 沿革等

・同社は2000年(平成12年)に前代表が神戸にて同法人を設立。同年に特別養護老人ホーム等の給食受託を開始した。また、大手弁当会社とコンサルティング契約を締結し、介護食メニューの開発に当たった。その後、兵庫県をはじめとした全国各地の老人福祉施設、保育園、社員食堂、学生食堂等の給食を受託する。2021年(令和3年)に調理済冷凍食品の販売事業を開始。2023年(令和5年)に現代表が代表取締役役に就任し、現在に至る。

### (2) 当社の特徴

・同社は、老人福祉施設を中心に様々な施設の給食受託と調理済冷凍食品を販売する給食サービス業である。給食受託事業では、それぞれの施設で厨房に調理員を配置し、給食提供を行っている。調味料と米に拘りを持ち、食物アレルギーに配慮した栄養バランスのよい「美味しく楽しい」献立を工夫している。しかし、近年、人手不足とコスト高が進行しており、それに対応するため、厨房内で食材を調理加熱した後に急速に低温冷却し、チルドの状態 で管理する「クックチル調理システム」を導入し、調理の効率化によるコスト削減を図っている。また、調理済冷凍食品は、冷凍食品パックを10分湯煎し、盛り付けるだけで食べることが可能で、安定的に料理を提供できるため、人手不足で調理スタッフの採用が困難な老人福祉施設等への導入を推進している。

### (3) 今後の展開

・調理済冷凍食品は、現在、他社に製造を委託しているが、価格競争力を高め、同社のアイデアをダイレクトに製造に反映させるため、調理済(冷凍もしくはクックチル)食品の内製化を検討しており、さらなる事業の拡大を目指す。



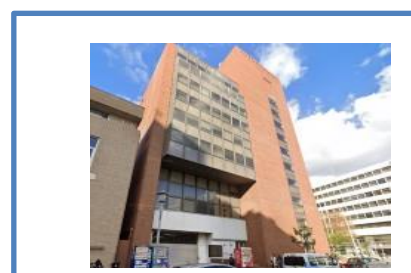
「誰もが生き甲斐を感じる献立」年齢・能力に応じて美味しく食べてやすい食事を提供。心をこめて1日10,000食。



イベント食(行事食)や季節感あふれるメニューを提供

### 【(株)ケアフードサービス 概要】

代表者：藤崎 栄紀  
資本金：1,000万円  
従業員数：230名(内パート180名)  
所在地：神戸市中央区栄町通1丁目2番1号 建栄ビル6階  
設立：2000年(平成12年)1月  
電話番号：078-325-0771  
ホームページ：https://carefood.jp



『鳥と人との共生』を追求し続ける鳥害対策総合コンサルタント企業！

(1) 沿革等

- ・ 同社は、1981年(昭和56年)に兵庫県下の公団住宅の空家工事の担当で創業、1990年(平成2年)に有限会社藤永設備を設立した。1998年(平成10年)に株式会社フジナガに組織を変更し、藤永義一氏が代表取締役役に就任。2016年(平成28年)に現代表の藤永雅也氏が代表取締役役に就任した。2020年(令和2年)にフジナガヨーロッパを設立。2021年(令和2年)にホールディング会社を設立。2023年(令和5年)に「ひょうごオンリーワン企業」に認定され、現在に至る。

(2) 当社の特徴

- ・ 同社は、鳥害対策コンサルティング会社として、顧客ごとに異なる要望や、現場が抱える様々な問題や課題に対して、豊富な経験をもとに、最適な防鳥対策を提案している。同社が重視するのは、品質・コスト・効果・美観・機能性など、すべてのカテゴリーで納得・満足を得られるコンサルティングを行うことであり、顧客ニーズに寄り添うオーダーメイドスタイルでの鳥害対策が同社のこだわりと強みである。また同社は、業界屈指の防鳥製品メーカーとして、現場の声を絶えず検証し、多彩な製品を生み出す「開発力」に優れており、同社製品を業界のデファクトスタンダード化することを企図している。

(3) 今後の展開

- ・ 2030年を目標にサステナビリティ経営の追求を図る。野鳥調査を行い、人への対策、野鳥と生物全般の保護を目指す「仮称：鳥類環境調査部」の設置を計画している。海外進出に関しては、発展と連動して防鳥対策の需要が増すと予測されるアジアの発展途上国を中心に展開していく。鳥害対策をベースに総合環境対策コンサルタント会社として、さらなる事業の拡大を目指している。



「BF3 バードネット」: 美観を損ねずネットを張って鳥の侵入を防ぐ



「BF3 バードピン」: ピン先はとがっておらず、鳥を傷つけず鳥の着地を防止



全国各地の展示会に出展

【(株)フジナガ 概要】

代表者：藤永 雅也  
資本金：1,000万円  
従業員数：108名 (内パート2名)  
所在地：尼崎市道意町6丁目28番7  
設立：1998年(平成10年)7月  
電話番号：06-6417-8115  
ホームページ：https://www.fujinaga810co.jp



## 〔参考〕成長期待企業について

### 1 概要

経営革新や新たな技術・製品・サービスの開発などに取り組んでいる県内の中小企業を応援するため、(公財)ひょうご産業活性化センターを中核機関として中小企業支援機関をネットワーク化した「中小企業支援ネットひょうご」を構築しています。

このネットワークを活用し各種の支援を実施することにより、売上・利益・雇用の面での成長が期待できる企業を「成長期待企業」として選定し、企業の成長に向けて集中的に支援を実施する(原則2年間)制度を設けています。

平成15年以降、600社を超える中小企業を選定しています。

### 2 選定基準

以下の選定基準(選定基準より一部抜粋)をもとに委員会にて企業を選定します。

- ① 成長が期待される元気な中小企業である。
- ② 「中小企業支援ネットひょうご」の構成機関による支援策が有効に活用される業種・業態の企業である。
- ③ 県内に主たる事業所を有する企業である。
- ④ 経営方針(経営理念、具体的目標、ビジョン)がある。
- ⑤ 経営革新・第二創業や新たな技術、製品、サービス等の開発の要素がある。
- ⑥ 支援策の活用により今後3年間において、売上、利益、雇用のいずれかで成長が見込める企業である。

### 3 選定企業への支援

「成長期待企業」として選定された企業は、次の支援メニューを活用できます。

- ① 「コンサルティング支援」(原則2年間)  
当センターの総括コーディネーター・マネージャーによる指導・助言
- ② 「専門家派遣事業による支援」(原則2年間)  
ひょうご産業活性化センターの専門家派遣事業に係る費用負担の軽減
- ③ 「情報提供支援」  
異業種間での経営者同士の情報交換機会の提供(ひょうご成長期待企業定例会を奇数月開催)
- ④ 「企業PR支援」  
「中小企業支援ネットひょうご」のホームページ上に選定企業として掲載